

## 5 「シラバス Web 入稿管理システム」操作マニュアル

シラバス原稿は「シラバス Web 入稿管理システム」を使って入力をお願いします。（利用方法の詳細は、以下をご確認ください。）

### 「シラバス Web 入稿管理システム」の利用に当たって

「シラバス Web 入稿管理システム」の利用に当たっては、以下の点にご注意ください。

#### 1. 推奨環境等

OS	Web ブラウザ	備考
Windows10、11	Chrome（最新版）	・Adobe Reader プラグインの使用設定をする。 ・Javascript/CSS の Cookie を有効にする。 ・ポップアップブロックの制限を解除する。
Mac OS	Safari（最新版）	

- Web ブラウザの「戻る」ボタンで画面を移動した場合、正しく表示されない場合がありますので、画面内の移動ボタン（「保存」「戻る」等）を使用してください。
- プロキシサーバー経由の場合、ログイン画面が表示できない場合があります。
- セキュリティの関係上、ログイン後の画面でブックマークは設定しないでください。

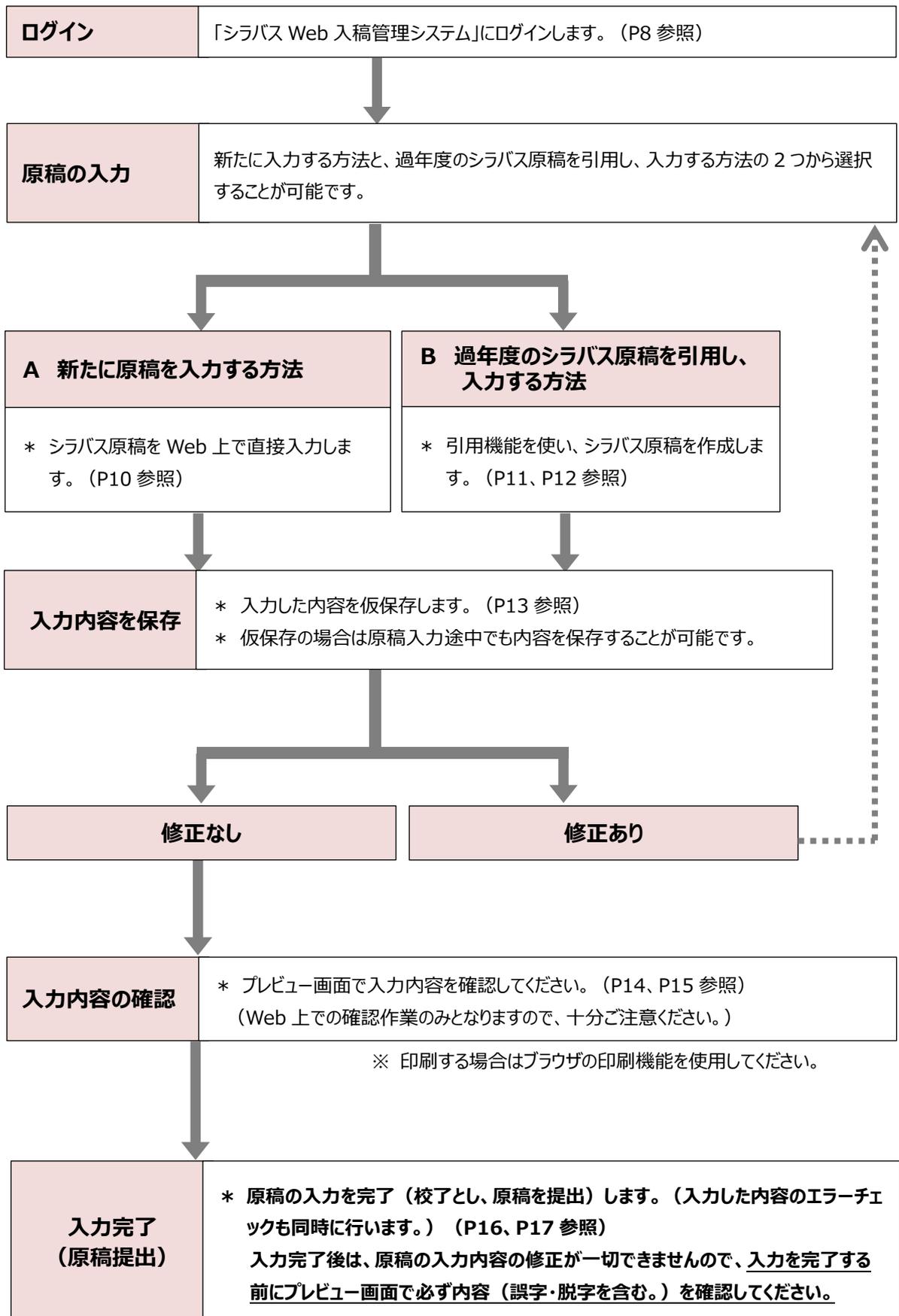
### 本文編集におけるルールについて

本文編集画面では、以下のとおり入力してください。

- 文字列中の半角スペースは 1 個のみ有効です。連続して入力しても 1 つ分の半角スペースとして処理されます。
- 改行するたびに行数が増えるため、本文に段落を付けるとき以外は、改行せずにそのまま続けて入力してください。
- 特殊外国語や特殊記号等は使用できません。（文字化けする場合があります。）
- 使用できない文字等を使用した場合は、冊子確認（PDF 表示）時に赤いゲタマーク（=）で「文字エラー」として表示されます。（赤いゲタマークで表示できないときは、PDF 表示されず、エラーメッセージが表示されます。）
- 半角カナは全角カナに変換されます。
- 入力支援ツールを使用する場合は P17 ページをご参照ください。

※ 画面の仕様は、実際の画面と異なることがあります。

## シラバス原稿入力の流れ



# 1 ログイン

- ① Web ポータルシステムにログインし、リンクの「◇シラバス原稿作成はこちら」をクリックしてください。  
※ Web ポータルシステムのログイン方法については「Web ポータルシステム利用マニュアル」を参照してください。

2024/10/31(木)

終日  
予定はありません。

時間別  
予定はありません。

新着  
新着情報はありません。

フラグつき  
フラグつき情報はありません。

検索  
学生 教員  
学籍番号:   
氏名:   
Q 検索 Q Advanced検索

リンク

- ☑ 羽海大学HP
- ☑ 通安キャンパスHP
- ☑ 履修の手引
- ☑ シラバス
- ☑ シラバス<教員専用>
- ☑ キャンパスガイド
- ☑ ◇シラバス原稿作成はこちら
- ☑ Webポータルマニュアル(教員)
- ☑ Webポータルマニュアル(学生)
- ☑ Webポータルマニュアル(大学院学生)
- ☑ 学事課(教務担当)からのお知らせ
- ☑ manabaマニュアル(学生)

- ② 「2025年度シラバス原稿の作成について」の内容を確認し、「シラバスWeb入稿管理システム」の「ログイン」をクリックしてください。

MEIKAI UNIVERSITY

## 2025年度 シラバス原稿の作成について

はじめに

シラバスは、授業を選択する学生に、授業の内容、到達目標（一般目標・個別目標）及び評価基準・方法等を示す最大の情報源となります。また、各学部・学科等では、カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーを定め、これを実現するための体系的な教育を行っておりますが、シラバスはこれら教育目標を実際の授業を通して具現化していく指針を示す役割も果たします。さらに、シラバスは中央教育審議会の答申等により、内容のより一層の充実が求められています。これらのことを踏まえ、シラバス原稿作成に当たっては、各授業の到達目標（一般目標・個別目標）とその目標達成に向けた学修計画及び成績評価基準・方法・各授業回に対する授業の事前・事後の学修内容・時間・課題等のフィードバック等について学生にわかりやすく丁寧なものとなるよう、できるだけ具体的に明示してまいりますようお願い申し上げます。

その他

情報処理演習室（PC教室）使用希望調査書及び視聴覚関連（AV）講義室使用希望調査書並びにテキスト販売依頼書については、「各種申請」をご確認いただき申請くださいますようお願い申し上げます。

シラバス原稿作成要領（留意点・マニュアル等）  
click [シラバス原稿作成要領\(全ページ\)](#)  
P1-5 留意事項（項目別）

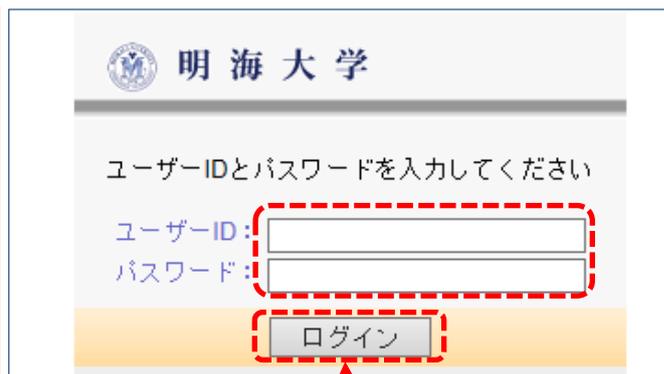
シラバスWeb入稿管理システム  
[ログイン](#)  
(ログイン画面へ移動します。)

Web ポータルシステムを利用できない場合は、以下の URL を入力してください。  
<サイトアドレス>  
<https://urayasu.meikai.ac.jp/tebiki/syllabus.html>

③ ユーザーIDとパスワードを入力し、ログインをクリックしてください。

**！注意事項！**

- ※ ユーザーIDとパスワードについて
- 昨年度のシラバス Web 入稿管理システムのユーザーID、パスワードと同様です。
- 半角英数字で入力してください。
- 新規採用の先生方へは、別途お知らせします。
- ユーザーID、パスワードが不明な場合は学事課（教務担当）までお問い合わせください。



ユーザーIDとパスワードを入力し、ここをクリックしてください。

## 2 シラバス原稿作成担当科目一覧画面

シラバス原稿作成担当科目一覧が表示されますので、その中から原稿を作成する授業科目をクリックしてください。

明海 太郎さん 現在 2 件が登録されています

冊子確認	Web確認	本文編集	管理ID	本文ID	入稿状況	年度	学部/大学院	開講学科等	授業科目区分	授業科目名
			51213	151213		2025	学部	日英中経不HT 共通科目		植物生理学
			51217	151217		2025	学部	日英中経不HT 共通科目（人間力形成教育）		生命と遺伝子

作成する授業科目名を選んでクリックしてください。

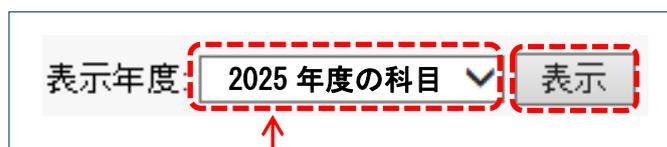
● 入稿状況について

表示	入稿状況	備考
(空欄)	原稿の内容が入力されていない状態です。	
編集	原稿の内容が仮保存されている状態です。	作成期間中であれば、何度でも修正することが可能です。
校了	原稿の入力が完了された状態です。	内容を修正することはできません。 やむを得ず修正が必要な場合は、学事課（教務担当）までご連絡ください。

※ 作成期限までにすべての科目について「校了」の状態にしてください。

● その他

年度を切り替えることで過年度のシラバスを閲覧することができます。ただし、過去のシラバスを編集することはできません。



ここをクリックして選択してください。

### 3 原稿の入力 (A 新たに原稿を入力する方法)

本文編集画面が表示されたら、各項目枠に入力してください。

前年度のシラバス原稿を引用し、作成する場合は P11、P12 を参照してください。

作成に当たっては、**4 原稿作成の留意事項 (項目別)** P2~P5 を参照してください。

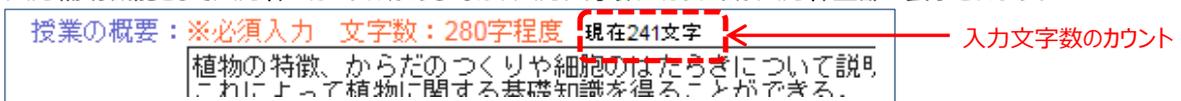
#### <入力画面抜粋>

① 授業の概要 P2 参照	→	授業の概要 : ※必須入力 文字数 : 280字程度 植物の特徴、からだのつくりや細胞のはたらきについて説明し、これによって植物に関する基礎知識を得ることができる。次に、植物を取り巻く環境について概説し、特に重要(乾燥、塩ストレス)と植物との関係について詳しく後半部では、植物のしたたかな戦略(特に子孫繁栄の)
② 到達目標 P2 参照	→	到達目標 : (ディプロマ・ポリシー: ●●●●) 一般目標 : ※必須入力 文字数 : 200字程度 (1)植物のからだのつくりとはたらきについて細胞レベルで説明し、(2)人類や地球環境における植物の重要性を明確に論議 個別目標 : (1)植物のからだのつくりとはたらきについて細胞レベルで説明し、(2)人類や地球環境における植物の重要性を明確に論議
③ 履修条件 P2 参照	→	履修条件 : ※必須入力 文字数 : 140字程度 生物学を履修していることが望ましい。
④ 評価基準・方法 P3 参照	→	評価基準・方法 : ※必須入力 文字数 : 140字程度 定期試験60%、レポート20%、学修内容振り返りシート目標の達成度に基づき総合的に評価する。なお、5分の4以上の出席を評価の
⑤ フィードバック方法 P3 参照	→	フィードバック方法 : ※必須入力 文字数 : 140字程度 課題及び定期試験のフィードバックについては、学修
⑥ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容) P3 参照	→	アクティブ・ラーニングの実施(実施内容) : ※必須入力 あり ▼ グループ・ディスカッション、ラ
⑦ 授業でのPCの利用(利用内容) P3 参照	→	授業でのPCの利用(利用内容) : ※必須入力 あり ▼ Excel、Wordソフトを搭載したノ
⑧ 教科書 P4 参照	→	教科書 : ※必須入力 文字数 : 140字程度 明海太郎編「植物生理学入門」●●●出版 ●●●年
⑨ 参考書 P4 参照	→	参考書 : ※必須入力 文字数 : 140字程度 明海次郎編「植物の世界」●●●出版 ●●●年
⑩ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間 P4 参照	→	授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間 :

#### ！ 注意事項 !

##### <入力文字数のカウント>

入力補助機能として入力枠にカーソルがある時は、入力文字数のカウントが入力枠上部に表示されます。



※ 全角文字は 1 文字、半角文字は 0.5 文字でカウントされます。

##### <入力作業を中断又は終了する>

入力作業を中断又は終了する場合は、必ず入力内容を仮保存してください。(P13 参照)

## 【前年度作成担当した同一名称科目を引用する】

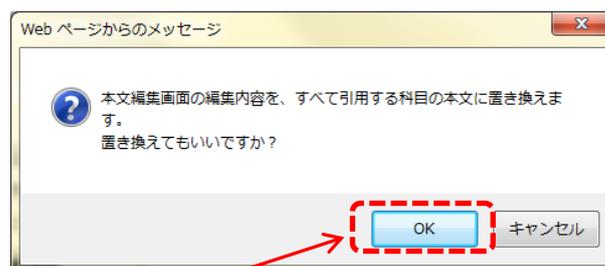
- ① 本文編集画面が表示されたら、画面右上の引用ボタン  をクリックしてください。

本文に文字書式の指定やアクセント文字を入力する	本文を引用する
<input type="button" value="入力支援ツールを表示"/>	前年度科目を引用 引用 確認 本文ID 科目名 <input type="button" value="引用"/> <input type="button" value="確認"/> 171308 植物生理学 引用可能な科目から選択 <input type="button" value="引用可能な科目を表示"/>
<b>本文編集時の注意事項</b> ●1科目の編集時間は1時間です <a href="#">詳細はこちら</a> ●ルビ・傍点は使用できません [ルビの入力例: 文字 (モジ)] ●行頭のスペースは無効、行中の半角スペースが連続した場合は1文字分のみ有効です ●冊子では、和文のイタリック指定は無効、太字指定はゴシック体で表記されます ●タブ文字(制御文字)・半角カナ文字は使用禁止です	
年度: 2025 学部/大学院: 学部 開講学科等: 日英中経不HT カリキュラム区分: 2010年度以降入学生用科目・対応科目 授業科目区分: 共通科目 授業科目名: 植物生理学 授業担当教員名: 明海 太郎 執筆担当者名: 開講年次: 1 単位数: 2 開講期: 前1/後1 ヘッダー備考: 2022年度以降入学生のみ履修可能 授業の概要: ※必須入力 文字数: 280字程度	

ここをクリックしてください。

- ② 引用ボタン  をクリックすると、確認メッセージが表示されるので、引用する場合は  をクリックしてください。

引用完了後、内容を確認の上、**4** 原稿作成の留意事項（項目別） P2～P5 に沿って追加・修正してください。



ここをクリックしてください。

## ！注意事項！

- 前年度のシラバス原稿を引用する前に必ず Web 確認ボタン  で内容を確認してください。
- 前年度の作成担当科目に同一名称科目が複数ある場合は、「**該当科目が複数あります**」と表示されます。
- 作成担当した全ての科目又は他の教員が作成担当した同一名称科目を引用する場合は、**5** 原稿の入力（B 過年度のシラバス原稿を引用し、入力する方法②）（P12）を参照してください。
- 引用機能を使用しただけでは、内容の保存はされませんので、必ず仮保存を行ってください。（P13 参照）

## 【作成担当した全ての科目又は他の教員が作成担当した同一名称科目を引用する】

- ① 本文編集画面が表示されたら、画面右上の **引用可能な科目を表示** をクリックしてください。

本文に文字書式の指定やアクセント文字を入力する	本文を引用する
<input type="button" value="入力支援ツールを表示"/>	前年度科目を引用 引用 確認 本文ID 科目名 <input type="text" value="171308"/> <input type="text" value="植物生理学"/>
<b>本文編集時の注意事項</b> ● 1科目の編集時間は1時間です <a href="#">詳細はこちら</a> ● ルビ・傍点は使用できません [ルビの入力例：文字（モシ）] ● 行頭のスペースは無効、行中の半角スペースが連続した場合は1文字分のみ有効です ● 冊子では、和文のイタリック指定は無効、太字指定はゴシック体で表記されます ● タブ文字(制御文字)・半角カナ文字は使用禁止です	<b>引用可能な科目から選択</b> <input type="button" value="引用可能な科目を表示"/>
年度：2025 学部/大学院：学部 開講学科等：日英中経不HT カリキュラム区分：2010年度以降入学生用科目・対応科目 授業科目区分：共通科目 授業科目名：植物生理学 授業担当教員名：明海 太郎 執筆担当者名： 開講年次：1 単位数：2 開講期：前1/後1 ヘッダー備考：2022年度以降入学生のみ履修可能 授業の概要：※必須入力 文字数：280字程度	

ここをクリックしてください。

- ② 引用可能な科目一覧が表示されますので、引用する科目の選択ボタンをクリックしてください。

- ③ 引用する科目の選択完了後、 **選択した科目を引用** をクリックしてください。

引用する科目を選択し、  
クリックしてください。

2件が引用できます。引用する科目を選択して「選択した科目を引用」ボタンをクリックしてください。

選択	web 確認	管理ID	本文ID	年度	学部/大学院	開講学科等	授業科目名	授業担当教員名
<input type="radio"/>	<input type="button" value="確認"/>	151214	151214	2024	学部	日英中経不HT	学修の基礎 I	明海 太郎
<input checked="" type="radio"/>	<input type="button" value="確認"/>	151215	151215	2024	学部	日英中経不HT	植物生理学	明海 太郎

ここをクリックしてください。

## ！注意事項！

- 引用する前に必ず Web 確認ボタン  で内容を確認してください。
- 作成担当科目に同一名称科目が複数ある場合は、「**該当科目が複数あります**」と表示されます。
- 前年度作成担当した同一名称科目を引用する場合は **4 原稿の入力（B 過年度のシラバス原稿を引用し、入力する方法①）**（P11）を参照してください。
- **2023年度のシラバスを引用する場合、2023年度シラバスで「評価基準・方法／フィードバック方法」の項目に入力されている内容が2025年度シラバスでは「評価基準・方法」の項目に引用されます。課題等のフィードバック方法については、「フィードバック方法」の項目に移し替える等して新たに入力してください。**
- 引用機能を使用しただけでは、内容の保存はされませんので、必ず仮保存を行ってください。（P13 参照）

## 6 入力内容を保存

この内容を仮保存

- ① 入力内容を保存する場合は本文編集画面下部の **この内容を仮保存** をクリックしてください。

事前学修：	2.0 hr	教科書第5章を読み、植物観察・採集の基本を確認しておく。
事後学修：	2.0 hr	研究成果をまとめ、プレゼンテーションの準備を進める。
15回 授業テーマ：	グループ研究の最終成果発表、総括	
授業内容：	これまでのグループ研究の成果について、パワーポイントを用いてプレゼンテーションを行う。	
事前学修：	2.0 hr	研究成果をまとめ、プレゼンテーションの準備を進める。
事後学修：	2.0 hr	学修内容振り返りシートを記入する。
<b>この内容を仮保存</b> この内容を校了として保存 開いた状態にリセット キャンセル		

ここをクリックしてください。

- ② クリック後、仮保存完了のメッセージが表示されますので必ず **閉じる** をクリックしてください。

おつかれさまでした。  
冊子確認ボタンで冊子での表記や体裁もご確認ください。  
また、まだ仮保存中（編集中）ですので、入稿期間中に校了してください。

**閉じる**

ここをクリックしてください。

- ③ **閉じる** をクリックすると、科目一覧表示画面に戻ります。このとき、入稿状況は「**編集中**」と表示されます。

明海 太郎さん 現在 2 件が登録されています

冊子確認	web確認	本文編集	管理ID	本文ID	入稿状況	年度	学部/大学院	開講学科等	授業科目区分	授業科目名
			151213	151213	編集中	2025	学部	日英中経不HT	共通科目	植物生理学
			151217	151217		2025	学部	日英中経不HT	共通科目（人間力形成教育）	生命と遺伝子

「編集中」に表示が変わります。

### ！ 注意事項 ！

- **閉じる** をクリックせずに仮保存画面を閉じると、入力したデータは保存されませんのでご注意ください。
- 入力内容を仮保存しただけでは作業は完了しませんので、最終的に「校了として保存」（P16、P17）の処理を必ず行ってください。

## 7 入力内容の確認（プレビュー）

### 冊子確認

- ① 入力内容を冊子形式で確認する場合は、「授業科目名」を確認の上、冊子確認ボタン  をクリックしてください。

明海 太郎さん 現在 2 件が登録されています

冊子確認	web確認	本文編集	管理ID	本文ID	入稿状況	年度	学部/大学院	開講学科等	授業科目区分	授業科目名
			151213	151213	編集中	2025	学部	日英中経不HT	共通科目	植物生理学
			151217	151217		2025	学部	日英中経不HT	共通科目（人間力形成教育）	生命と遺伝子

ここをクリックしてください。

- ② クリック後、冊子確認画面が表示されますので、入力内容等をご確認ください。



tex\_pdf\_viewer.php - Google Chrome

Adobe Acrobat: PDFの編集、変換、署名ツール | chrome-extension://efaidnbnmnihpcajpcglclefindmkaj/http://meikai.sugawara.click.jp/admin/tex/tex\_pdf\_viewer.php?pdf=171308...

tex\_pdf\_ewer.php

### 植物生理学

開講学科等：日英中経不 HT | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 1/後 1 | 備考：2022 年度以降入学生のみ履修可能

明海 太郎

■ 授業の概要  
植物の特徴、からだのつくりや細胞のはたらきについて説明した後、動物とは何処がどう違う生物であるかを明らかにする。これによって植物に関する基礎知識を得ることができる。  
次に、植物を取り巻く環境について概説し、特に重要な環境要因である光(光合成、光形成、光ストレス)や水(乾燥、塩ストレス)と植物との関係について詳しく説明する。  
後半部では、植物のしたたかな戦略(特に子孫繁栄のためのいろんな手段)について概説する。さらに、地球環境における植物と人類や他生物との関わりについてまとめを行う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：●●●●)

一般目標：(1) 植物のからだのつくりとはたらきについて細胞レベル、分子レベルで説明できるようになる。  
(2) 人類や地球環境における植物の重要性を明確に論述できるようになる。

個別目標：(1) 植物のからだのつくりとはたらきについて細胞レベル、分子レベルで説明できるようになる。  
(2) 人類や地球環境における植物の重要性を明確に論述できるようになる。

■ 履修条件  
生物学を履修していることが望ましい。

■ 評価基準・方法  
定期試験 60%、レポート 20%、学修内容振り返りシート 10%、授業内容における参加姿勢及び発言等 10%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法  
課題及び定期試験のフィードバックについては、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)  
あり (グループ・ディスカッション、ディベート)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)  
あり (Excel、Word ソフトを搭載したノートパソコンを毎回持参すること)

■ 教科書  
明海太郎編「植物生理学入門」●●出版●●年

■ 参考書  
明海次郎編「植物の世界」●●出版●●年

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

- ③ 冊子確認画面を閉じる場合は画面右上の閉じるボタン  をクリックしてください。

### ！注意事項！

- 冊子確認機能を使用するには Adobe Acrobat Reader（無料）が必要です。
- 本文編集後は、必ず冊子確認機能を使用して内容を確認してください。
- 内容確認完了後は、「校了として保存」（P16、P17）の処理を必ず行ってください。

## Web 確認

- ① 入力内容を Web 公開形式で確認する場合は、「授業科目名」を確認の上、Web 確認ボタン  をクリックしてください。

明海 太郎さん 現在 2 件が登録されています

冊子	web	本文	管理ID	本文ID	入稿状況	年度	学部/大学院	開講学科等	授業科目区分	授業科目名
			151213	151213	編集中	2025	学部	日英中経不HT 共通科目		植物生理学
			151217	151217		2025	学部	日英中経不HT 共通科目 (人間力形成教育)		生命と遺伝子

ここをクリックしてください。

- ② クリック後、Web 公開確認画面が表示されますので、入力内容等をご確認ください。

植物生理学

開講学科等：日英中経不HT 開講年次：1年次 2単位 開講期：前1/後1 備考：2022年度以降入学生のみ履修可能

明海 太郎

**授業の概要**  
植物の特徴、からだのつくりや細胞のはたらきについて説明した後、動物とは何処がどう違う生物であるかを明らかにする。これによって植物に関する基礎知識を得ることができる。  
次に、植物を取り巻く環境について概説し、特に重要な環境要因である光（光合成、光形成、光ストレス）や水（乾燥、塩ストレス）と植物との関係について詳しく説明する。  
後半部では、植物のしたたかな戦略（特に子孫繁栄のためのいろんな手段）について概説する。さらに、地球環境における植物と人類や他生物との関わりについてまとめを行う。

**到達目標（ディプロマ・ポリシー：●●●●）**  
一般目標：(1)植物のからだのつくりとはたらきについて細胞レベル、分子レベルで説明できるようになる。  
(2)人類や地球環境における植物の重要性を明確に論述できるようになる。  
個別目標：(1)植物のからだのつくりとはたらきについて細胞レベル、分子レベルで説明できるようになる。  
(2)人類や地球環境における植物の重要性を明確に論述できるようになる。

**履修条件**  
生物学を履修していることが望ましい。

**評価基準・方法**  
定期試験60%、レポート20%、学修内容振り返りシート10%、授業内容における参加姿勢及び発言等10%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。なお、5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

**フィードバック方法**  
課題及び定期試験のフィードバックについては、学修支援システムmanabaを通して行う。

**アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）**  
あり（グループ・ディスカッション、ディベート）

**授業でのPCの利用（利用内容）**  
あり（Excel、Wordソフトを搭載したノートパソコンを毎回持参すること）

- ③ Web 確認画面を閉じる場合は画面下部の  をクリックしてください。

ここをクリックしてください。

### ！注意事項！

- 本文編集後は、必ず Web 公開確認機能を使用して内容を確認してください。
- 内容確認完了後は、「校了として保存」（P16、P17）の処理を必ず行ってください。

## 8 入力完了（校了）

- ① 入力作業が完了しましたら、入力内容を再度確認の上、本文編集画面下部の **この内容を校了として保存** をクリックしてください。

事前学修： 3.0 hr  
 今までの授業内容を復習する。 必須

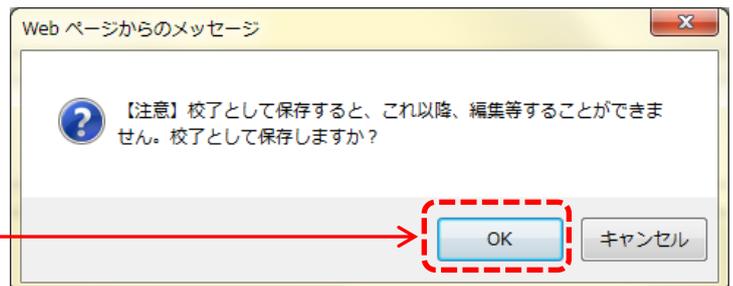
事後学修： 1.0 hr  
 学修内容総括シートを記入する。 必須

この内容を仮保存 **この内容を校了として保存** 開いた状態にリセット キャンセル

↑ **ここをクリックしてください。**

### エラーがない場合

- ② クリック後、確認画面が表示されますので修正箇所がなければ、**OK** をクリックしてください。



→ **ここをクリックしてください。**

- ③ クリック後、冊子確認画面が表示されますので、内容確認後、**閉じる** をクリックしてください。

お疲れ様でした。校了として保存しました。冊子確認画面を表示しますので、内容のご確認の上【閉じる】ボタンをクリックしてください。これ以降、修正等を必要とする場合は学事課（教務担当）までご連絡ください。

**閉じる**

↑ **ここをクリックしてください。**

tex\_pdf\_viewer.php 1 / 2 110%

明海大学 管理 ID:171308 本文 ID:171308 [2023/10/24 - 17:5]

**植物生理学**  
 開講学科等：日英中経不 HT | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 1/後 1 | 備考：2022 年度以降入学生のみ履修可能  
 明海 太郎

■ 授業の概要  
 植物の特徴、からだのつくりや細胞のはたらきについて説明した後、動物とは何処がどう違う生物であることを明らかにする。これによって植物に関する基礎知識を得ることが出来る。次に、植物を取り巻く環境について概説し、特に重要な環境要因である光(光合成、光形成、光ストレス)や水(乾燥、塩ストレス)と植物との関係について詳しく説明する。後半部では、植物のしたたかな戦略(特に子孫繁栄のためのいろんな手段)について概説する。さらに、地球環境における植物と人類や他生物との関わりについてまとめを行う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：●●●●)

一般目標：(1) 植物のからだのつくりとはたらきについて細胞レベル、分子レベルで説明できるようになる。  
 (2) 人類や地球環境における植物の重要性を明確に論述できるようになる。  
 個別目標：(1) 植物のからだのつくりとはたらきについて細胞レベル、分子レベルで説明できるようになる。  
 (2) 人類や地球環境における植物の重要性を明確に論述できるようになる。

■ 履修条件  
 生物学を履修していることが望ましい。

■ 評価基準・方法  
 定期試験 60%、レポート 20%、学修内容振り返りシート 10%、授業内容における参加姿勢及び発言等 10%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法  
 課題及び定期試験のフィードバックについては、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)  
 あり (グループ・ディスカッション、ディベート)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)  
 あり (Excel、Word ソフトを搭載したノートパソコンを毎回持参すること)

■ 教科書  
 明海太郎編「植物生理学入門」●●出版 ●●年

■ 参考書  
 明海太郎編「植物の世界」●●出版 ●●年

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

- ④ **閉じる** をクリックすると、作成担当科目一覧画面に戻ります。

この時、入稿状況は「校了」と表示されます。

冊子確認	web 確認	本文編集	管理ID	本文ID	入稿状況	年度	学部/大学院	開講学科等	授業科目区分	授業科目名
			151213	151213	校了	2025	学部	日英中経不HT 共通科目		植物生理学
			151217	151217		2025	学部	日英中経不HT 共通科目 (人間力形成教育)		生命と遺伝子

↑ 「校了」に表示が変わります。

## 原稿作成はこれで完了です。

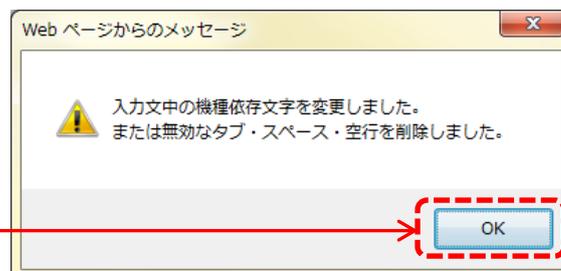
- 入力完了していない科目については、引き続き原稿の入力作業を行い、すべての科目が「校了」になるようにしてください。
- 作成いただいた原稿については、各学部長等から必要に応じて修正等をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

## ！注意事項！

- 半角カナなどの文字が使用されていると自動的に全角カナに変更します。

この内容を校了として保存 をクリック後、次の画面が表示されるので  をクリックしてください。

ここをクリックしてください。



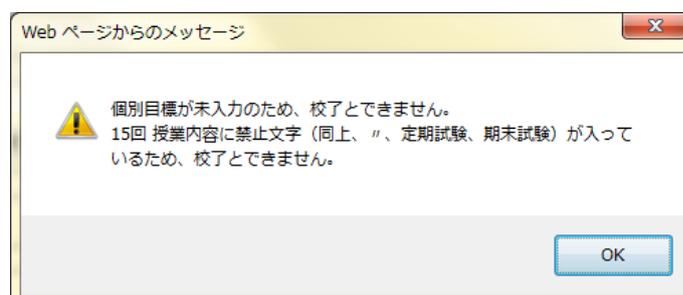
- 冊子確認機能を使用するには Adobe Acrobat Reader（無料）が必要です。
- をクリックせずに校了画面を閉じると、入力したデータは保存されませんのでご注意ください。

## エラーがある場合

① エラーメッセージが右図のように表示されます。

<主なエラー内容>

- 授業内容に「同上」、「//」、「定期試験」、「期末試験」が入力されている。
- 空欄箇所がある。



② エラーメッセージが表示されないよう、すべての修正作業を行ってください。

## 9 その他

### 【入力支援ツールの操作】

本文編集画面では、太字や下線、斜体などのコードを入力することができます。

入力支援ツールを使用される場合は、学事課（教務担当）までお問い合わせください。